

病害虫発生予察特殊報 第1号

富山県農林水産総合技術センター所長

タバコノミハムシの初確認について

- 1 病害虫名 和名：タバコノミハムシ
学名：*Epitrix hirtipennis* Melsheimer
- 2 発生作物 なす
- 3 発生経過
 - (1) 令和3年8月、県東部地域のナスほ場において、ノミハムシ類の成虫による葉の食害が確認された。
 - (2) 成虫を採集し、名古屋植物防疫所伏木富山支所に同定を依頼した結果、8月27日にタバコノミハムシ (*Epitrix hirtipennis* Melsheimer) と診断され、県内で初めての確認となった。
 - (3) 本種は中央～北アメリカを原産とする外来種である。国内では、平成23年に群馬県で初めて本種の発生が確認された。※現時点（令和3年8月31日）までに20府県から本種の初確認に関する発生報告がある。
- 4 特徴
 - (1) 寄主植物
なす、トマト、ばれいしょ、ほおずき等のナス科作物で発生が報告されている。
 - (2) 形態及び生態
成虫は体長1.5～2.5mm、長楕円形でやや扁平であり、密な短刺毛に覆われる。体色はやや光沢のある赤褐色で、上翅の中央部に不明瞭な黒斑を持つ。また、後腿節は肥大している（写真1）。成虫は刺激を受けると、後脚により大きく跳ねる。卵は地表に産み付けられ、ふ化した幼虫は地中で根を食害した後、地表近くで蛹化する。成虫は落葉下などで越冬する。
 - (3) 被害
本種の成虫は、葉の片側の表皮を残して食害、または葉を貫通して食害する。このため、直径1～2mm程度の多数の小さな白い斑点状の食害痕や丸い穴が観察され（写真2、3）、葉が成長すると被害痕が円形の大きな穴になる。
- 5 防除対策
 - (1) 令和3年8月31日現在、本種に対する登録農薬はない。
 - (2) 本種が発生している作物の栽培終了時には、近隣のナス科作物へ本種が移動しないように残渣を速やかに処分する。
 - (3) 他県の事例では、ほとんどが減農薬や無農薬栽培のほ場で確認されており、慣行の薬剤防除を行っているほ場では被害が拡大する可能性は低いと推測される。

【参考資料】



写真1 成虫



写真2 被害葉



写真3 被害葉及び成虫

富山県農林水産総合技術センター 農業研究所 病理昆虫課
TEL 076-429-2111 FAX 076-429-7974
情報参考 URL <https://taffrc.pref.toyama.jp/nsgc/nougyou/>